

ウィンタースクール「昔の遊び 凧つくりに挑戦しよう」

凧をつくり、昔の遊びを体験します。

- と き 令和4年1月14日（金）
午前10時～12時
ところ 別海町郷土資料館
内 容 昔の遊び 「凧作り」
対象者及び募集人員
小学生 先着6名
申込等 12月24日（金）までに電話・FAX・メールにてお名前
と電話番号をお知らせください。



ふるさと講座歴史系第1回目を実施しました！

「歴史の道を歩く～江戸時代のノツケ！ 野付通行屋・番屋跡遺跡を訪ねる～」

11月7日（日）参加者12名で実施しました。

はじめに野付半島ネイチャーセンターで30分ほどレクチャーを行いました。野付通行屋が設置された背景、現地に残る痕跡、古文書資料に描かれたノツケの風景、平成15～17年度に行われた野付通行屋跡遺跡の発掘調査など、野付半島先端部で江戸時代に生活の営みがあったお話をしました。

その後、野付通行屋跡遺跡入口まで車で移動し、そこから約2km歩きました。途中オジロワシ・オナガガモ、ヒドリガモ、オオハクチョウ、エゾシカなどの野鳥を観察しながら遺跡に到着しました。遺跡では、土塁、墓石、建物跡、畑の畝跡などを実際に見学しました。

海岸沿いに陶磁器や金属製品などが落ちていたことから、参加者は、江戸時代の様子を思い描いていたようです。参加者からの質問なども多く、興味関心の高さが伺えました。



ふるさと講座自然系第2回目を実施しました。

「小さな冬の使者ユキホオジロを訪ねる観察会」

11月28日(日)参加者12名で実施しました。講師は、野付半島ネイチャーセンター長藤井薫氏です。

講師よりネイチャーセンターで、この時期見られる渡り鳥、ユキホオジロ、コクガンのお話をいただきました。その後、野付半島先端に車で移動しました。淡水池の観察舎にてオオハクチョウやカモ類を観察しました。車で通行可能な池田番屋からは、徒歩で先端を目指しました。途中湾内に200羽ほどコクガンをまじかで観察することが出来ました。先端に到着しましたが、強風でなかなかお目当てのユキホオジロを見つける事が難しかった中、唯一1羽見る事ができました。飛び回る様子もなかったことから、双眼鏡でじっくり観察する事が出来ました。強風でコンディションが悪い日となりましたが、お目当ての鳥を十分に観察することが出来ました。



新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する当館の対応について(お願いとご協力)

- (1) 発熱や咳等の症状が見られる方や体調不良の方は、利用をご遠慮ください。
- (2) マスクの着用・咳エチケット・手洗いの励行、消毒液の利用をお願いします。
- (3) 他の利用者の方と十分な間隔(2m程度)を保つようにしてください。
- (4) 1時間以内のご利用にご協力願います。
- (5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保健所等の行政機関による聞き取り調査等にご協力いただく場合があります。また、感染者が発生した場合は、ホームページや来館者のみなさんに周知・連絡しますので「連絡票」への記入にご協力ください。
- (6) 各施設において、職員の指示に従ってください。

別海町郷土資料館だより No.269

発行日 令和3年12月1日

発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

11/28のユキホオジロの観察会、今期初雪を観測した翌日でした。強風により体感温度も低く感じられコンディションも悪い日でしたが、地面に這いつくばり餌を探す小さなユキホオジロに自然のたくましさを感じました。これから冬本番です。